

みずほCustomer Desk Report 2020/04/10号(As of 2020/04/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.07
TKY 9:00AM	108.94	1.0861	118.28	GBP/USD	1.2391
SYD-NY High	109.06	1.0951	119.00	AUD/USD	0.6234
SYD-NY Low	108.20	1.0841	118.13		0.6363
NY 5:00 PM	108.48	1.0930	118.58		0.6195
					0.6340
NY DOW	23,719.37	285.80	日本2年債	-0.150	▲2.00bp
NASDAQ	8,153.58	62.67	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	2,789.82	39.84	米国2年債	0.2294	▲2.46bp
日経平均	19,345.77	▲7.47	米国5年債	0.4101	▲5.97bp
TOPIX	1,416.98	▲8.49	米国10年債	0.7270	▲4.29bp
シカゴ日経先物	19,600.00	300.00	独10年債	-0.3490	▲3.80bp
ロンドンFT	5,842.66	164.93	英10年債	0.3030	▲7.60bp
DAX	10,564.74	231.85	豪10年債	0.9270	▲2.55bp
ハンセン指数	24,300.33	329.96	USDJPY 1M Vol	8.58	▲0.58%
上海総合	2,825.90	10.54	USDJPY 3M Vol	8.58	▲0.30%
NY金	1,752.80	68.50	USDJPY 6M Vol	8.53	▲0.20%
WTI	22.76	▲2.33	USDJPY 1M 25RR	-3.33	Yen Call Over
CRB指数	127.82	▲1.38	EURJPY 3M Vol	9.65	▲0.66%
ドルインデックス	99.52	▲0.60	EURJPY 6M Vol	9.68	▲0.42%

【昨日の指標等】

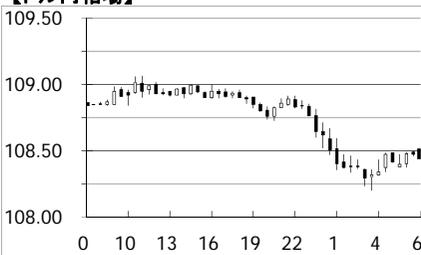
Date	Time	Event	結果	予想
4月9日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/-2.8%	0.1%/-3%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.5%/-3.9%	0.1%/-4%
	20:30	欧 ECB議事要旨	3月 「強力な金融政策が必要」	
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	3月 -0.2%/0.7%	-0.4%/0.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	4-Apr 6,606k	5,500k
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	「景気回復へ追加措置辞さず」
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 71	75

【本日の予定】

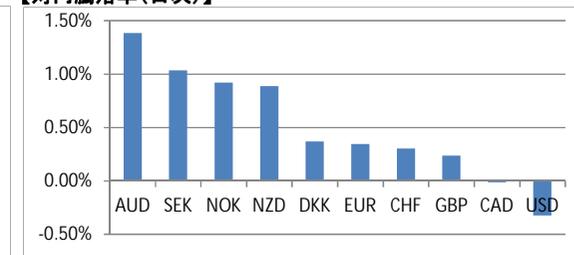
Date	Time	Event	予想	前回
4月10日	10:30	中 PPI(前年比)	3月 -1.1%	-0.4%
	10:30	米 CPI(前年比)	3月 4.9%	5.2%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月 -0.3%/1.6%	0.1%/2.3%
4月11日	1:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	2:30	米 クォールズFRB副議長 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は108.94レベルでオープン。仲値にかけて上昇し、109.06をつけたが、その後はイースター休暇を翌日に控え、109円付近で方向感なく推移し、108.95レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.95レベルでオープン。イースター休暇前の欧州時間は動意薄。108円後半の狭いレンジで取引され108.89レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2375レベルでオープン。英2月GDPが予想外にマイナス成長だったことから重い立ち上がりだったが、程なくドル売りを背景にポンドは買い戻され一時1.2448まで上昇。ただ特段の材料なく勢いは持続せず1.2415レベルでNYに渡った。(ロンドン・グループ 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は新型コロナウイルスの世界的な蔓延の先行き不透明感が煽る中、109円台手前で上値重く推移。早朝にダウ先物がマイナス圏に沈む動き横目に円買いが強まり108.73まで下落し、108.89レベルでNYオープン。朝方は米週間新規失業保険申請件数が660.6万件と事前予想を上回るも市場の反応は限定的だった。同じタイミングで「FRBが中小企業や地方政府支援を目的に最大2.3兆ドルの追加融資を提供する」とのヘッドラインが伝わる中、ドル需給逼迫が和らぐとの見方にドル売りが強まるが、米株先物も大幅に上昇し円売りも強まったことから、発表直後の値動きは限られた。しかし、米株買いと円売りが一巡すると、次第にドル売り優勢となり、108円台半ばまで下落。その後、「OPECプラスが日量1000万バレルの減産で暫定合意」とのヘッドラインが伝わり、一部予想と比べ減産量が限定的だったことから原油安が進み、リスクオフムードが広まり安値108.20をつける。終盤にかけてはドルの買い戻しが入り、結局、108.48レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、新規の手掛かり材料が乏しいほか、イースター休暇を控え様子見ムードが強まる中、1.0860近辺で方向感なく推移し、1.0858レベルでNYオープン。朝方はFRBの追加措置の報道を背景にドル売りが強まり1.0946まで上昇。午後は1.0952までじりじりと高値を更新。その後、EU財務相会合で5900億ドル相当のウイルス対応策で合意したことが伝わるも、ユーロドルの反応は限定的だった。終盤は買い戻りに押され、結局、1.0930レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 冷静なマーケットと冷える实体经济

新型コロナウイルスは依然猛威を振るっている。にもかかわらず今週は感染者が多いイタリア、スペインそして米国で感染者ならびに死者数の増加ペースの鈍化が好感されてか、世界的な株高や米金利の上昇、そしてドル円もどこかリスクオンのような雰囲気漂う局面もあった。ただ、筆者は引き続きドル上値重い展開を予想している。

まず、新型コロナウイルスの深刻な影響にもかかわらず、一日あたりの死者が減少した等のポジティブなニュースに対しての反応が大きすぎるように感じる。ウイルスに対するワクチンが出来なければ、本当の意味での感染者数鈍化にはならないであろうし、世界的景気減速懸念は煽り続ける。本邦においても緊急事態宣言が発動し、幅広い業種への休業要請が景気下押し圧力となっており、経済活動の停滞ならびに企業の収益下押しを鑑みれば、ここから積極的にリスクをとっていくとはなかなか考えづらい。

次に注目されていた主要産油国間の協調減産合意についても、一部で予想されていた大幅な減産合意とはならず、原油需要鈍化に見合わないとの見方からか、原油価格は軟調推移となっており、リスクセンチメントの改善はつながらない。

最後に金融政策に目をやると、昨日FRBは最大2.3兆ドルを資金供給するプログラムを発表した。前例のない支援策を講じたことで足元ドル需要逼迫の懸念が後退しており、今後もドル安圧力につながると予想している。

本日から来週初にかけては主要海外市場で休日が多く、動意に乏しい展開を予想するが、引き続き新型コロナウイルス感染者数、死者数や主要株式市場の動向には注意を要する。悲観的なニュースに対してもある程度冷静な反応を示し、ひとところのような急激な相場変動については可能性が低くなったと予想するものの、リスクは依然ドル安円高方向に広がっていると考えている。(松本)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松本・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	フル	ベア	ベア	フル	ベア	ベア	フル	フル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
フル	フル	ベア	ベア	フル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

フル	ベア
7	13